

# 「メディア環境と子どもの育ち」

## ～テレビとどうつきあいますか～

日時 : 平成 27 年 5 月 30 日 (土) 13 時 30 分～15 時 30 頃 **(終了しました)**

会場 : 獨協大学 東棟 4F 405, 407

講師 : 田口 雅徳さん(獨協大学 国際教養学部言語文化学科・教授)

定員 : 50 名程度 参加費: 無料


メディアとは、情報を伝えるときに用いられる媒体物のことを指しています。テレビやラジオはもちろん、近年登場した携帯電話やスマートフォン、タブレット型 PC などもメディアになりますし、音楽や映像が記録された DVD、マンガや手紙などもメディアに含まれます。身の回りの環境を見回してみると、わたしたちはいろいろなメディアに囲まれている、ということに気づくことでしょう。

メディアは大人だけでなく幼い子どもの生活環境にも深く浸透してきます。そのため、新しいメディアが登場すると、子どもの発達に対するメディアの影響がしばしば話題となります。テレビが家庭に登場したのは 1960 年代ごろで、それ以来テレビの功罪について、いろいろと議論されてきました。それでは、心理学など科学的研究の世界では、テレビと子どもの発達について、どのような成果が得られてきたのでしょうか？

この講演では、テレビと子どもの発達に関するいろいろな心理学の実験や調査の結果を紹介しながら、子どもとメディア環境とのつきあい方について、皆さんとともに考えてみたいとおもいます。

### 講師プロフィール

広島大学大学院教育学研究科博士後期課程修了。博士(教育学)。現在、獨協大学国際教養学部教授。専門は教育心理学および発達心理学。幼児期の認知発達について心理学的手法を用いて研究してきた。近著に、『0歳～12歳までの発達と学び: 保幼小の連携と接続に向けて』(北大路書房・分担執筆)、『学習開発学の展開』(北大路書房・分担執筆)など。

- 
- ・参加のお申し込みは、お電話にてお願いします。受付 5/7～
  - ・当日は保育はありませんが、お子様と一緒に聴講できるお部屋もご用意しております。**(申込は終了しました)**



獨協大学  
地域と子どもリーガルサービスセンター  
TEL : 048-946-1781  
FAX : 048-946-1782